

複数教員とティーチングアシスタントによる情報の共有

－ Basic Japanese 1 におけるチームティーチングの実践報告－

秋葉多佳子¹⁾，和田由里恵²⁾，菅谷奈津恵^{3)*}，吉本 啓³⁾

1) 新羅大学， 2) 東北大学大学院国際文化研究科， 3) 東北大学高等教育開発推進センター

1. はじめに

近年大学におけるグローバル化が進んでいる。日本国内の大学においても国際競争力を高め、魅力的な教育内容を提供することで、能力の高い留学生を世界中から日本に集め、国際的に活躍できる人材の養成を目指している。その目標実現のためのグローバル30は、日本の国公立大学を対象とした文部科学省が実施する支援事業のひとつである。

これにより東北大学でも、留学生の受入れ体制を提供する学部・研究科に英語学位コースが設置され、2010年度より、留学生の受け入れが開始された。Basic Japanese は、2011年10月に開講された日本語科目である。本報告では、2でBasic Japanese について概要を述べ、3で本プログラムにおける複数教員とティーチングアシスタントによる情報の共有状況及びその利点・問題点について述べ、最後に今後の課題について述べる。

2. Basic Japanese について

Basic Japanese 1 (以下、本プログラムと呼ぶ) は、理学部、工学部及び農学部学士コースに所属する留学生を対象とした授業科目である。英語を媒介語として日本語を学ぶ授業であり、日本語学習歴のほとんどない初級学習者が対象である。以下で授業概要、教材、授業内容、受講学生について述べる。

2.1 授業の概要

本プログラムは、日本語の基礎的な四技能（読む、

書く、聞く、話す) の習得を目的としている。授業は、月曜日、火曜日、木曜日、金曜日の5時間目(16:20～17:50)に行われ、週4コマを教員3名が担当するチームティーチングの形で授業が行われた。教員間そしてティーチングアシスタント(以下、TAと呼ぶ)が情報を共有し交換する必要があるため、複数の人に同時に電子メールを配信する仕組みであるメーリングリスト Google グループと Google ドキュメントを利用した。その利用状況については、次章で詳細を報告する。

2.2 教材について

教材は、The Japan Times の『げんき I』を使用した。また、副教材として『げんき I ワークブック』、『げんきな絵カード I イラストデータ版』を使用している。

2.3 授業内容

教材は、12課まであり、主に教科書・ワークブックを使用する。教科書の理解を深めるために、絵カードや文字カードを作成し、学生たちに学習しやすいよう配慮した。文字カードは、ひらがな、カタカナ、漢字の語彙で作成し、読み練習に使用した。そのほかにひらがな・カタカナそれぞれの五十音図の作成も行った。五十音図は、教科書付属の教材にはアルファベットがついていたが、アルファベットに頼らないように新たにひらがなのみでの表を作成した。

新しい課に入る際には、初めにその課で使用される単語の小テスト(10問程度)を行うことにより、学生の単語の定着を図った。授業中の練習のほかにホーム

*) 連絡先: 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41 東北大学高等教育開発推進センター sugaya@m.tohoku.ac.jp

ワークとしてTAが授業補助を行うオフィスアワーを使って会話練習を行った。

2.4 受講学生

受講生は学部1年生13名である。所属学部は、理学部4名、工学部5名、農学部4名である。国籍別では、インドネシア3名、トルコ4名、タイ3名、インド、中国、スリランカが各1名である。日本語学習歴の詳細は、0か月が5名、1か月が4名、2か月が1名、5か月が1名、6か月が1名、3年が1名である。3年学習歴のある受講生は高校での学習であるが、それ以外の受講生は、独学または語学学校での学習経験である。

受講生は外国人であるため学習環境の違いやルールの違いがあることから授業開始日にはオリエンテーションとして教室におけるルール(図1)や半年間の学習日程などを説明した。ほとんどの学生が、遅刻や欠席もなく授業に参加していたが、連続して欠席した学生などがいた場合にも、Googleグループによる連絡により欠席状況を全員が把握することができた。

3. G30プログラムにおける工夫点

前述のように、本プログラムでは、3名の教員が一つのクラスを担当する。本節ではこのようなチームティーチングの現場において教員及び教育補助を行なうTAが業務を円滑に行う上で工夫した点について述べる。

3.1 Google グループ及びGoogle ドキュメント

本プログラムで工夫した点として、Google グループ及びGoogle ドキュメントの使用が挙げられる。Google グループとは、Googleが提供する無料サービスで複数の人間が共通の話題を共有する場を提供するものである。具体的には、通常一人以上のオーナーがグループを立ち上げ、オーナーはグループの参加条件及び参加者を決めることができる。グループの参加者はいわゆるメンバーリストと類似した機能の使用が可能である。Google グループを使用することによって、例えば、一つのファイルを共有したり、グループのメンバー全員に一度にメールを送ったりすることが

できる。

Google ドキュメントも同様にGoogleが無料で提供するサービスであり、これは、ウェブブラウザ内で動くオフィスソフトである。Google ドキュメントでは、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの機能が使用可能であり、既存のファイルをアップロードすることや、ウェブブラウザ上でファイルを作成することが可能である。アップロードもしくは作成したファイルはGoogleのサーバー上に保存され、これらのファイルは、他者と共有することが可能である。また、ファイル作成者が、閲覧のみの使用なのかもしくは修正可能かといったような共有者の使用条件を決めることができる。本プログラムでは、主に表計算ソフトと既存のファイルの共有の機能を使用した。

Googleドキュメントのセキュリティーについて、Googleはヘルプのページにおいて情報の保護を最優先にしていること、セキュリティーの専門家からなる専任チームを設けて対処していることを明記している(Googleドキュメント2012)。また、Googleドキュメントにアップロードされるファイルは、デフォルトで限定公開になるように設定されており、一般公開するためにはファイルの作成者が設定する必要がある。

本プログラムのTAが昨年度勤務していたアメリカの大学ではBlackboardという有料の学習管理システムを使用していたが、本プログラムではそのようなシステムを使用する環境が整っていないため、経済性及び利便性を考慮し、Google グループ及びGoogle ドキュメントを使用した。

3.2 Basic Japanese 1におけるGoogle グループ及びGoogle ドキュメントの使用報告

チームティーチングの現場において重要なことの一つに、教員間での正確且つ円滑な情報交換が挙げられる。本プログラムでも教員によって担当する曜日が異なるため、授業の進捗状況、学生の様子等を細かく報告する必要があった。実際に教員が対面し報告し合うことが理想的であるが、複数の教員が担当する場合、毎回の授業報告を行なうのは困難である。

また、主に授業外での教育補助を行なう2名のTAとの連絡も必要である。TAの業務内容は、教材作成

及び準備、宿題及び授業内で行った課題のチェック、テスト・クイズの採点、出席管理、テスト・クイズの得点及び宿題の提出状況の管理、授業外に行うオフィスアワーにおける教育補助等が挙げられる。

本プログラムでは、教員3名及びTA2名からなるグループと、教員1名、TA2名、学生からなる2種類のグループを作成し使用した。使用の目的として、教員用のグループは出席管理、宿題の提出状況の管理、授業の引き継ぎのためのメール送受信等が挙げられる。また、学生用のグループは授業、オフィスアワーに関する連絡、TAが行う授業外のオフィスアワーの予定管理等が挙げられる。以下に、実際にBasic Japanese 1でGoogle グループ及びGoogle ドキュメントを使用した例について詳細に述べる。

まず、教員及びTAで構成されるグループにおいて、使用頻度が高かったものは、メーリングリストとしての機能である。授業後に当日の担当教員が進捗状況、出席状況、宿題提出状況、授業の様子等をグループのメーリングリストに送信する。これにより、全教員が毎授業の進捗状況、学生の様子を把握することができ、TAへの指示も円滑に行う事ができる。

次に、出席管理、宿題の提出状況の管理についてであるが、これはTAが各教員からのメールを受け取った後に、Google ドキュメント上に作成したファイルに出席、宿題の提出状況を入力する。このファイルはTA2名及び教員1名が書き込みできるように設定されており、他2名の教員は閲覧のみができる設定になっている。このファイルはウェブ上に保存されているため、書き換えた場合すぐに反映され、同時に複数のコンピューターから同一ファイルにアクセスすることが可能である。

教員用のグループと同様に、本プログラムでは学生用のグループも作成した。このグループの主な利用目的は、授業外のオフィスアワーで授業補助を行うTAと学生が連絡を取りやすくすることである。このグループでは、主な目的がTAと学生間における連絡であるため、代表の教員1名がグループに参加しているが、他の2名の教員はグループに参加していない。

教員用のグループとは異なり、学生用のグループは作成後、使用することが非常に少なかった。これにつ

いては次節の問題点で詳細に述べる。

3.3 本プログラムにおけるGoogle グループ及びGoogle ドキュメントの使用に関する利点・問題点

本プログラムではGoogle グループは教員用、学生用の二つのグループを作成し使用した。本プログラムにおけるGoogle グループ及びGoogle ドキュメントの使用においては、多くの利点があったものの、特に学生用のGoogle グループの使用に問題点も見られた。それぞれの使用について本プログラムにおける利点、問題点を以下にまとめる。

まず、Google グループの教員用グループの利点であるが、Google グループは無料で提供され、誰でも使用可能であるため、経済性が高いことが挙げられる。したがって、大学によっては大学全体で使用している学習管理システムが無い場合、もしくは、使用する環境が整っていない場合、非常に利便性が高いツールであると言える。また、メーリングリストとしての機能を使用することによって、グループ内の交流を行いやすい。本プログラムでは試験的にGoogle グループを使用し、使用場面も限定されていたため、教員用グループにおける問題点は現時点では見つからなかった。

次に、Google グループの学生用グループの利点であるが、教員用と同様に無料で使用できる点及びメーリングリストとしての機能が挙げられる。しかしながら、問題点として、Google グループの使用に教員が慣れていなかったため、グループのメンバー登録に手間取ったことや、本プログラムにおいて使用回数が少なかったことが挙げられる。本プログラムでは、主にTAと学生との間の連絡用に使用する目的でグループを作成したため、教員は1名のみをメンバーとして登録し、TAと学生中心のグループとしたが、TAから学生への連絡を行う事はめったになく、メーリングリストとしての機能を使用することが少なかった。

本プログラムでは、TA、限られた教員のみ学生用グループに登録したが、今後は教員全員を登録する予定である。Google グループを使用することによって、シラバスやテスト・クイズの予定を学生と共有することができ、また、教員から学生への連絡も円滑に行う

事ができる。また、学生が授業外でもTAや教員への連絡が可能となり、より使用する機会が増えることが予想される。

最後に、Google ドキュメントの利点と問題点であるが、利点としては、ファイルの共有が可能であること、また、ファイルを共有するメンバーの使用条件をファイル作成者が設定することができることが挙げられる。これにより、教員のみがファイルを修正または書き込みでき、学生は閲覧のみの使用を可能にすることもできる。さらに、一つのファイルを同時に複数のコンピューターを使用して編集することができ、編集箇所は即時に反映されるため、複数の教員もしくはTAによる出席管理が可能である。Google ドキュメントもGoogle グループと同様試験的な使用であるため、問題点については今後検討したい。

3.4 TAの業務

本プログラムでは3名の教員のほか2名のTAが授業補助を行なった。具体的には、教材作成及び準備、宿題及び授業内で行った課題のチェック、テスト・クイズの採点、出席管理、テスト・クイズの得点及び宿題の提出状況管理、授業外に行うオフィスアワーにおける教育補助等を行なった。以下、TAのそれぞれの業務について詳細を述べた上で、来年度における本プログラムの運営の改善につなげたい。

本プログラムでは、授業が始まる1週間ほど前から教材の作成および準備を開始した。教材としては、ひらがな・カタカナ表記の五十音図、単語カード、教科書付属の絵カード・漢字カード等である。本プログラムは10月から新たに開始したため、教材は全て一から作成し、来年度以降も使用可能な教材の作成が必要であった。事前に教員3名から必要な教材の要望を受け、それらをTAが中心となり作成した。

授業が始まったのちの主な業務としては、宿題及び授業内で行った課題のチェック、テスト・クイズの採点、出席管理、テスト・クイズの得点及び宿題の提出状況管理が挙げられる。前述したように、授業を担当した教員は授業後進捗状況、出席状況、宿題提出状況、授業の様子等を他の教員及びTAに報告する。報告を受けた後、教材等を管理する部屋からテスト、クイズ、

宿題等を回収し、チェックした。

学生に対する授業外の学習補助として、授業外のオフィスアワーを週一回程度行った。オフィスアワーにおける主な業務内容としては、会話練習、授業の復習等が挙げられる。オフィスアワーは基本的に月曜日・水曜日の13時から14時半であるが、学生にはオフィスアワーに来る際には事前に予約のメールをTAに送るようにと指示し、予約があった場合のみオフィスアワーを行なった。オフィスアワーは少人数で行うので、学生の要望に合った学習補助を行なうことができる。オフィスアワーについては、本プログラムの最後に学生に対しアンケート調査を行なう予定である。

4. おわりに

本報告では2011年度から始まった高等研究教育推進センターによるBasic Japanese 1について、その概要をまとめ、チームティーチングを行う上で工夫した点について述べた。さらに、3名の教員によるチームティーチングをサポートするTAの業務についてまとめた。

本プログラムでは学習管理システムとして、Google が無料で提供するGoogleグループおよびGoogle ドキュメントを試用した。主な利点としてその経済性、利便性が挙げられるとともに、その使用において問題点が明らかになった。今後は、アンケート調査の結果をまとめるとともに、学生用Googleグループの使用環境を整備し、来年度のプログラム運営に生かしたいと考えている。

謝辞

本報告は、東北大学高等教育開発推進センターの平成23年度高等教育の開発推進に関する調査・研究経費を得て行った研究の一部です。

参考文献

- 坂野永理, 池田庸子, 大野裕, 品川恭子, 渡嘉敷恭子 (2011) 『初級日本語げんき I 第二版』 The Japan times.
- 坂野永理, 池田庸子, 大野裕, 品川恭子, 渡嘉敷恭子 (2011) 『初級日本語げんき I ワークブック 第二版』 The Japan times.

坂野永理, 池田庸子, 大野裕, 品川恭子, 渡嘉敷恭子 (2011)
『げんきな絵カード I イラストデータ版第二版』The
Japan times.

Google ドキュメント「データの機密保持」
<<https://support.google.com/docs/bin/answer.py?hl=ja&answer=87149>> (2012/02/04アクセス)

Basic Japanese 1

2011年10月6日(木)

1 きょうしつのルール Classroom rules

We expect you to:

(1) Come on time and stay until the class is over.

Three failures will count as one absence. (Lateness of more than 30 minutes will count as one absence.)

(2) Submit all homework assignments by due dates.

Late work will be marked lower.

(3) Prepare for the lessons:

- たんご (Vocabulary) -- Listen CD and learn vocabulary in advance.
(e.g. pp.40-41)
- ふんぼう (Grammar) -- Read the grammar explanations in advance.
(e.g. pp.42-47)

2 ^{じゅうがつ}10月のクイズのよてい Quiz schedule for October 2011 (tentative)

^{じゅうがつ} 10月13日	^{もく} 木ようび Thu.	ひらがなクイズ1: Basic Hiragana (e.g. あ、か、わ、を、ん) Hiragana with diacritical Marks ` ° (e.g. が、ざ、ば、び)
^{じゅうがつ} 10月17日	^{げつ} 月ようび Mon.	ひらがなクイズ2: Hiragana with small や、ゆ、よ (e.g. きゃ、きゅ、きょ) Hiragana with small つ (e.g. かつた、さつか) Long vowels (e.g. おばあさん、えいが、とうほく)
^{はつか} 10月20日	^{もく} 木ようび Thu.	カタカナクイズ
^{じゅうごふ} 10月25日	^か 火ようび Tue.	ぶんぼう (grammar) クイズ 1~2課
^{じゅうごふ} 10月28日	^{きん} 金ようび Fri.	かんじ 漢字クイズ 1-15 (pp.298~301)

*クイズはだいたい じゅうぎょうのはじめにします。

Quizzes will usually be given early in the class session.

*10月18日(火ようび)のにほんごは やすみです。

Japanese class is cancelled on Tuesday, October 18.

図1 教室のルール

